

# 照陽の家だより

「令和6年 能登半島地震」にて被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

## 新年会を開催

今年はお正月遊びの定番福笑いや、職員有志による銭太鼓のステージでお楽しみ頂きました。銭太鼓では、時々あらぬ方向へ筒が舞ったりしましたが利用者様からは温かい声援を送っていただき手拍子で盛り上げて下さいました。お昼はお正月メニュー、おやつは菓子処「清月」の和菓子と利用者様にたてて頂いたお抹茶を味わい祝賀ムードに包まれた一日を過ごす事が出来ました。感謝！！



## 新年明けましておめでとうございます。

昨年中は照陽の家の運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。さて、事業者は災害時利用者様の安全を守るだけでなく事業継続（事業継続計画（BCP）の策定）をいかにしていくかが課せられそのための計画策定・訓練を日頃より行っています。私たちは常に冷静・迅速に対応しなければ全てを守ることはできませんがその為にも平時から有事に備えた訓練を繰り返し実施していかなければならない事をこの度改めて身が引き締まる思いで実感しました。また同日の1月1日に施行された認知症の方が尊厳や希望をもって暮らせる共生社会実現が目的の新法『認知症基本法』。認知症の方が社会参加できる機会の確保や医療・福祉サービスの提供体制の整備などを施策としていますが照陽の家の理念である「住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていきたい」と願う高齢者の方の尊厳を損なう事がないよう地域との繋がりを大切にし地域に根ざす信頼される施設として職員一同精進してまいります。今年もご支援ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

照陽の家 管理者 石場圭子

## 訪問看護ステーション ハートケア

☆2024年 年初の決意 ☆

元日の能登半島地震が起きた時間に丁度、ある利用者様のお宅に訪問していました。家屋倒壊や火災の映像を一緒に観ながら利用者様は「こんな事になったら一人でどうしたらいいかわからない」「この身体じゃ避難も出来ないよ・・・」と不安な気持ちを話して下さいました。当ステーションの利用者様は一人暮らしもしくは日中一人という方が全体の半数以上占めています。震災発生時・緊急時に必要な避難行動支援は定期的な外出などによる避難経路の確認、室内の安全対策が軽減するよう日頃から一緒に取り組む必要があると感じています。さて、今年度は介護保険報酬改定の年となり訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護サービスには認知症対応強化・口腔管理強化・看取りへの対応強化が挙げられています。日々の業務の中で丁寧に心がけている事ではありますが今一度、地域包括ケアシステムの要となる施設として求められている事に向き合い皆様が安心してご自宅で過ごして頂けるよう続いて努めて参ります。本年もどうか宜しくお願い致します。

管理者 岩崎 美里

照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。

訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し看護ケアを提供し療養生活を支援するサービスです。



## 外出支援 初詣

和田御崎神社

おみくじ

書初めをしました。久しぶりに習字をしたのでうまく書けたのか心配されましたが、楽しく充実した時間でした。



## 米子駅がいなロード



利用者様の作品

今年も  
お元気で!!

